

## 進級・卒業

## 進級

## (1)進級要件

Ⅶ.諸規則「第2年次への進級に関する内規」に基づき、1年次から2年次への進級に必要な単位は28単位です。1年次終了時点で卒業要件科目のうち28単位以上修得した者は、修得科目に関わらず2年次へ進級できます。

他の学年次に進級要件はありません。

なお、1セメスター休学した場合でも次の学年に進級します。ただし、2セメスター連続して休学した場合は、原級にとどまります。

## (2)進級時期

進級時期は、3月のみです。春学期修了時点で進級要件を充足しても年度途中に進級することはできません。

進級可能者は3月中旬にお知らせします。

## (3)進級不可(留年)について

進級不可(留年)となった学生については、3月中旬に保証人宛に通知します。

## (4)1年次の留学希望者について

1年次に海外への留学を希望する者は、進級と関わりがありますので、必ず事前にMKC事務室まで相談に来てください。

## 卒業

## (1)卒業要件

大学を卒業するためには、以下の2点を満たさなければなりません。

①通算して4年(8セメスター)以上在学した者(休学期間は除く)。

②「愛知学院大学学則」第8条に定められている所定の128単位(卒業に必要な単位数)を修得した者。

注)4年次修了時点で上記の条件を満たしていなければ、128単位以上修得していても卒業することはできません。

## (2)学位の授与

卒業要件を充足した者は、「愛知学院大学学則」第37条により学士(経営学)の学位が授与されます。

## (3)卒業時期

卒業時期は、3月または9月のいずれかです。

## ①3月卒業

4年次秋学期修了時点で卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。

卒業可能者は、3月上旬に保証人宛に通知します。

## ②9月卒業

4年次春学期修了時点で、4年(8セメスター)以上在学し、卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。

卒業可能者は、9月中旬に保証人宛に通知します。

## (4)卒業不可(留年)について

卒業不可(留年)となった学生については、3月上旬に保証人宛に通知します。

次年度以降の卒業に関する調査を行います。所定の用紙を履修登録期間までにMKC事務室へ提出してください。

# カリキュラム概要

## 組織マネジメントコース

卒業するためにはVII.諸規則「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・**○**は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

**履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。**

### 教養教育科目 (36 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	20単位 (注1)		教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①		
		人文系	4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②		
		社会系	4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②		
		自然系	4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ 各②		
主題系	4単位		仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	10単位	第1外国語	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①	
		第2外国語	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)		
		文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)		
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	36単位	(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.17を参照。				

### 自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		キャリア・デザイン②			
		※サービスマニファシメント実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学A・B・C・D 各②			
		※長期インターンシップ④			

※2015年度以降入学生のみ履修可能  
(詳細についてはP.62・63を参照)

# カリキュラム概要

## 専門教育科目 (76 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	総計	内訳				
基礎科目		20 単位	経営入門Ⅰ・Ⅱ 各②			
			経営と情報Ⅰ・Ⅱ、初級簿記Ⅰ・Ⅱ 各②			
応用科目	Ⅰ群	48 単位	会計学入門Ⅰ・Ⅱ、生産管理論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理論Ⅰ・Ⅱ、人事管理論Ⅰ・Ⅱ 各②			
			経営科学Ⅰ・Ⅱ、イノベーション論、コミュニケーション論、環境ビジネス論、経営環境論、企画論、事業計画論、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、経営戦略Ⅰ・Ⅱ、経営統計Ⅰ・Ⅱ、リーダーシップ論、モチベーション論、サービスマネジメント、プログラミングⅠ・Ⅱ、データベースⅠ・Ⅱ、ベンチャービジネス論 各②	バーチャルカンパニーⅠA・ⅠB 各②	NPO 経営論、組織論Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス実践研究、バーチャルカンパニーⅡA・ⅡB 各②	
応用科目	Ⅱ群	48 単位	中級簿記Ⅰ・Ⅱ、上級簿記Ⅰ・Ⅱ、特別経営講座A・B・C・D・E 各②			
			金融論、国際金融論、経営工学、経営心理学Ⅰ・Ⅱ、財政学A・B、国際貿易論A・B、原価計算Ⅰ・Ⅱ、現代経済学A・B、国際経営論Ⅰ・Ⅱ、国際マーケティング論、財務管理論Ⅰ・Ⅱ、企業経営特論A・B・C・D、国際コミュニケーションⅠ・Ⅱ 各②	会計監査、ファイナンス分析、管理会計Ⅰ・Ⅱ、グローバル戦略論、国際会計論Ⅰ・Ⅱ、財務会計Ⅰ・Ⅱ、財務諸表分析、マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、労働経済学A・B、ロジスティクス論、多国籍企業論、中小企業経営論、中小企業事例研究 各②		
演習・外国語科目		2 単位	民法、会社法、税法、中部経済論、公共経営論、地域ビジネス論、エリア・リサーチA・B・C 各②			
			基礎演習②	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、海外体験演習 各②	ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ 各②	専門演習Ⅳ・Ⅴ 各② 卒業論文④
実習科目		4 単位	情報リテラシーⅠ・Ⅱ 各①			
			経営管理実習ⅠA・B・C・D、ビジネス・ゲーム実習A・B 各①	専門演習Ⅰ②	専門演習Ⅱ・Ⅲ 各②	経営管理実習ⅡA・B・C・D 各①

\*76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。

## グレーゾーン (16 単位)

分野	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	16単位	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ各①	英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各①		
		ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語	I (基礎)・Ⅱ (基礎) 各①	Ⅲ (読解)・Ⅳ (読解)、Ⅲ (表現)・Ⅳ (表現)、Ⅲ (総合)・Ⅳ (総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①	
専門教育科目	キャリア・デザイン科目	キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 各②、基礎経営実務⑥	キャリア・デザインⅢ・Ⅳ、産官民提携講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、ビジネス能力、インターンシップ 各②	キャリア・デザインⅤ・Ⅵ 各②	
		「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件 20 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 76 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位	「他学部・他学科科目」で修得した単位 (24 単位まで算入可) *グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで「専門教育科目」④に算入される		

Ⅰ. 大学で学ぶために

Ⅱ. 履修関連事項

Ⅲ. 授業・試験・成績

Ⅳ. カリキュラム

Ⅴ. 諸資格の取得

Ⅵ. カリキュラムマップ

Ⅶ. 諸規則

## カリキュラム概要

## 生産マーケティングコース

卒業するためにはVII.諸規則「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・**○**は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

**履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。**

## 教養教育科目 (36 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	20単位 (注1)		教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①		
		人文系	4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②		
		社会系	4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②		
		自然系	4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ 各②		
		主題系	4単位		仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②	
外国語科目	10単位	第1外国語	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①	
		第2外国語	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)		
		文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)		
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	36単位		(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.17を参照。			

## 自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		キャリア・デザイン②			
		※サービスマーケティング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学A・B・C・D 各②			
		※長期インターンシップ④			

※2015年度以降入学生のみ履修可能  
(詳細についてはP.62・63を参照)

# カリキュラム概要

## 専門教育科目 (76 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次	
	総計	内訳					
基礎科目	76 単位 ①	20 単位	経営入門Ⅰ・Ⅱ 各②				
			経営と情報Ⅰ・Ⅱ、初級簿記Ⅰ・Ⅱ 各②				
応用科目		48 単位	コース指定科目12 単位	会計学入門Ⅰ・Ⅱ、生産管理論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理論Ⅰ・Ⅱ、人事管理論Ⅰ・Ⅱ 各②			
				経営科学Ⅰ・Ⅱ、イノベーション論、環境ビジネス論、企画論、経営工学、経営統計Ⅰ・Ⅱ、国際マーケティング論、サービスマネジメント、プログラミングⅠ・Ⅱ、データベースⅠ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、経営戦略Ⅰ・Ⅱ、国際経営論Ⅰ・Ⅱ 各②	バーチャルカンパニーⅠA・ⅠB 各②	グローバル戦略論、ロジスティクス論、多国籍企業論、中小企業経営論、中小企業事例研究、マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、バーチャルカンパニーⅡA・ⅡB 各②	
			中級簿記Ⅰ・Ⅱ、上級簿記Ⅰ・Ⅱ、特別経営講座A・B・C・D・E 各②				
			コミュニケーション論、経営環境論、事業計画論、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、金融論、国際金融論、経営心理学Ⅰ・Ⅱ、リーダーシップ論、モチベーション論、原価計算Ⅰ・Ⅱ、現代経済学A・B、財務管理論Ⅰ・Ⅱ、企業経営特論A・B・C・D、国際コミュニケーションⅠ・Ⅱ、財政学A・B、国際貿易論A・B 各②				
			会計監査、ファイナンス分析、管理会計Ⅰ・Ⅱ、国際会計論Ⅰ・Ⅱ、NPO経営論、財務会計Ⅰ・Ⅱ、財務諸表分析、組織論Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス実践研究、労働経済学A・B 各②				
			民法、会社法、税法、中部経済論、公共経営論、地域ビジネス論、エリア・リサーチA・B・C 各②				
演習・外国語科目		2 単位	基礎演習②				
			ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、海外体験演習 各②				
				ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ 各②			
			専門演習Ⅰ②	専門演習Ⅱ・Ⅲ 各②	専門演習Ⅳ・Ⅴ 各② 卒業論文④		
実習科目		4 単位	情報リテラシーⅠ・Ⅱ 各①				
			経営管理実習ⅠA・B・C・D、ビジネス・ゲーム実習A・B 各①				
				経営管理実習ⅡA・B・C・D 各①			

※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。

## グレーゾーン (16 単位)

分野	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	16 単位	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各①				
		英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各①				
		ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語	Ⅰ (基礎)・Ⅱ (基礎) 各①			
			Ⅲ (読解)・Ⅳ (読解)、Ⅲ (表現)・Ⅳ (表現)、Ⅲ (総合)・Ⅳ (総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①			
			スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①			
		海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①				
専門教育科目	キャリア・デザイン科目	キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 各②、基礎経営実務⑥				
			キャリア・デザインⅢ・Ⅳ、産官民提携講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、ビジネス能力、インターンシップ 各②			
				キャリア・デザインⅤ・Ⅵ 各②		
		・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件 20 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 76 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位				
		「他学部・他学科科目」で修得した単位 (24 単位まで算入可) ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで「専門教育科目」④に算入される				

Ⅰ. 大学で学ぶために

Ⅱ. 履修関連事項

Ⅲ. 授業・試験・成績

Ⅳ. カリキュラム

Ⅴ. 諸資格の取得

Ⅵ. カリキュラムマップ

Ⅶ. 諸規則

# カリキュラム概要

## 会計コース

卒業するためにはVII.諸規則「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・**○**は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

**履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。**

### 教養教育科目 (36 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次	
	分野合計	内訳					
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②				
教養基幹科目	20単位 (注1)		教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①		教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①		
		人文系	4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
		社会系	4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		自然系	4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		主題系	4単位	仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	10単位	第1外国語	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①			英語Ⅰc・Ⅱc 各①
		第2外国語	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)			
		文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)			
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①				
合計	36単位	(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.17を参照。					

### 自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		キャリア・デザイン②	※サービスマニファシメント実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学A・B・C・D 各②		
		※長期インターンシップ④			

※2015年度以降入学生のみ履修可能  
(詳細についてはP.62・63を参照)

# カリキュラム概要

## 専門教育科目 (76 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	総計	内訳				
基礎科目	76 単位 ㉠	20 単位	経営入門Ⅰ・Ⅱ 各②			
			経営と情報Ⅰ・Ⅱ、初級簿記Ⅰ・Ⅱ 各②	会計学入門Ⅰ・Ⅱ、生産管理論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理論Ⅰ・Ⅱ、人事管理論Ⅰ・Ⅱ 各②		
応用科目	76 単位 ㉠	48 単位	中級簿記Ⅰ・Ⅱ、上級簿記Ⅰ・Ⅱ 各②	経営科学Ⅰ・Ⅱ、金融論、国際金融論、経営統計Ⅰ・Ⅱ、原価計算Ⅰ・Ⅱ、財務管理論Ⅰ・Ⅱ、プログラミングⅠ・Ⅱ、データベースⅠ・Ⅱ 各②	会計監査、ファイナンス分析、管理会計Ⅰ・Ⅱ、国際会計論Ⅰ・Ⅱ、財務会計Ⅰ・Ⅱ、財務諸表分析 各②	
			特別経営講座A・B・C・D・E 各②	バーチャルカンパニーⅠA・ⅠB 各②	イノベーション論、コミュニケーション論、環境ビジネス論、経営環境論、企画論、事業計画論、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、経営工学、経営心理学Ⅰ・Ⅱ、リーダーシップ論、モチベーション論、現代経済学A・B、国際マーケティング論、サービスマネジメント、ベンチャービジネス論、企業経営特論A・B・C・D、経営戦略Ⅰ・Ⅱ、国際経営論Ⅰ・Ⅱ、国際コミュニケーションⅠ・Ⅱ、財政学A・B、国際貿易論A・B 各②	グローバル戦略論、ロジスティクス論、多国籍企業論、NPO経営論、組織論Ⅰ・Ⅱ、中小企業経営論、中小企業事例研究、ベンチャービジネス実践研究、マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、バーチャルカンパニーⅡA・ⅡB、労働経済学A・B 各②
				民法、会社法、税法、中部経済論、公共経営論、地域ビジネス論、エリア・リサーチA・B・C 各②		
演習・外国語科目	76 単位 ㉠	2 単位	基礎演習②	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、海外体験演習 各②	ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ 各②	
			専門演習Ⅰ②	専門演習Ⅱ・Ⅲ 各②	専門演習Ⅳ・Ⅴ 各②	卒業論文④
実習科目	76 単位 ㉠	4 単位	情報リテラシーⅠ・Ⅱ 各①	経営管理実習ⅠA・B・C・D、ビジネス・ゲーム実習A・B 各①		
				経営管理実習ⅡA・B・C・D 各①		

※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。

## グレーゾーン (16 単位)

分野	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	16 単位	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各①	英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各①		
		ドイツ語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①	中国語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①	フランス語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①	韓国語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①
専門教育科目	16 単位	海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①	キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 各②、基礎経営実務⑥	キャリア・デザインⅢ・Ⅳ、産官民提携講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、ビジネス能力、インターンシップ 各②	キャリア・デザインⅤ・Ⅵ 各②
		・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件 20 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 76 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位 「他学部・他学科科目」で修得した単位 (24 単位まで算入可) ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで「専門教育科目」④に算入される			

Ⅰ. 大学で学ぶために

Ⅱ. 履修関連事項

Ⅲ. 授業・試験・成績

Ⅳ. カリキュラム

Ⅴ. 諸資格の取得

Ⅵ. カリキュラムマップ

Ⅶ. 諸規則

# コース制

## コース指定科目一覧

分野	授業科目名	単位数	開講学年	コース			卒業要件
				組織 マネジメント	生産 マーケティング	会計	
基礎科目	経営入門Ⅰ	2	1~4	●	●	●	20単位以上修得
	経営入門Ⅱ	2	1~4	●	●	●	
	会計学入門Ⅰ	2	2~4				
	会計学入門Ⅱ	2	2~4				
	経営と情報Ⅰ	2	1~4				
	経営と情報Ⅱ	2	1~4				
	初級簿記Ⅰ	2	1~4				
	初級簿記Ⅱ	2	1~4				
	生産管理論Ⅰ	2	2~4				
	生産管理論Ⅱ	2	2~4				
	マーケティング管理論Ⅰ	2	2~4				
	マーケティング管理論Ⅱ	2	2~4				
	人事管理論Ⅰ	2	2~4				
	人事管理論Ⅱ	2	2~4				
応用科目Ⅰ群	経営科学Ⅰ	2	2~4	○	○	○	コース選択科目の中から12単位以上
	経営科学Ⅱ	2	2~4	○	○	○	
	イノベーション論	2	2~4	○	○		
	コミュニケーション論	2	2~4	○			
	環境ビジネス論	2	2~4	○	○		
	経営環境論	2	2~4	○			
	会計監査	2	3・4			○	
	ファイナンス分析	2	3・4			○	
	管理会計Ⅰ	2	3・4			○	
	管理会計Ⅱ	2	3・4			○	
	企画論	2	2~4	○	○		
	事業計画論	2	2~4	○			
	企業倫理	2	2~4	○			
	コーポレート・ガバナンス	2	2~4	○			
	金融論	2	2~4			○	
	国際金融論	2	2~4			○	
	グローバル戦略論	2	3・4		○		
	経営工学	2	2~4		○		
	ロジスティクス論	2	3・4		○		
	経営心理学Ⅰ	2	2~4				
	経営心理学Ⅱ	2	2~4				
	経営戦略Ⅰ	2	2~4	○	○		
	経営戦略Ⅱ	2	2~4	○	○		
	経営統計Ⅰ	2	2~4	○	○	○	
	経営統計Ⅱ	2	2~4	○	○	○	
	リーダーシップ論	2	2~4	○			
	モチベーション論	2	2~4	○			
	原価計算Ⅰ	2	2~4			○	
	原価計算Ⅱ	2	2~4			○	
	現代経済学A	2	2~4				
	現代経済学B	2	2~4				
	国際会計論Ⅰ	2	3・4			○	
	国際会計論Ⅱ	2	3・4			○	
	国際経営論Ⅰ	2	2~4		○		
	国際経営論Ⅱ	2	2~4		○		
	国際マーケティング論	2	2~4		○		
	国際コミュニケーションⅠ	2	2~4				
	国際コミュニケーションⅡ	2	2~4				
	多国籍企業論	2	3・4		○		
	サービスマネジメント	2	2~4	○	○		
	NPO経営論	2	3・4	○			
財務会計Ⅰ	2	3・4			○		
財務会計Ⅱ	2	3・4			○		
財務管理論Ⅰ	2	2~4			○		
財務管理論Ⅱ	2	2~4			○		
財務諸表分析	2	3・4			○		
上級簿記Ⅰ	2	1~4			○		
上級簿記Ⅱ	2	1~4			○		
プログラミングⅠ	2	2~4	○	○	○		
プログラミングⅡ	2	2~4	○	○	○		
組織論Ⅰ	2	3・4	○				
組織論Ⅱ	2	3・4	○				
中級簿記Ⅰ	2	1~4			○		
中級簿記Ⅱ	2	1~4			○		
中小企業経営論	2	3・4		○			
中小企業事例研究	2	3・4		○			

●…必修科目  
○…コース選択科目

I 大学で学ぶために

II 履修関連事項

III 授業・試験・成績

IV カリキュラム

V 諸資格の取得

VI カリキュラムマップ

VII 諸規則



# コース制

分野	授業科目名	単位数	開講学年	コース			卒業要件		
				組織 マネジメント	生産 マーケティング	会計			
応用科目Ⅰ群	データベースⅠ	2	2~4	○	○	○	基礎科目・応用科目Ⅰ群・Ⅱ群から48単位 コース選択科目の中から12単位以上		
	データベースⅡ	2	2~4	○	○	○			
	ベンチャービジネス実践研究	2	3・4	○					
	ベンチャービジネス論	2	2~4	○	○				
	マーケティング戦略論Ⅰ	2	3・4		○				
	マーケティング戦略論Ⅱ	2	3・4		○				
	企業経営特論A	2	2~4						
	企業経営特論B	2	2~4						
	企業経営特論C	2	2~4						
	企業経営特論D	2	2~4						
	バーチャルカンパニーⅠA	2	2・3	○	○				
	バーチャルカンパニーⅠB	2	2・3	○	○				
	バーチャルカンパニーⅡA	2	3・4	○	○				
	バーチャルカンパニーⅡB	2	3・4	○	○				
	特別経営講座A	2	1~4						
	特別経営講座B	2	1~4						
	特別経営講座C	2	1~4						
	特別経営講座D	2	1~4						
	特別経営講座E	2	1~4						
	財政学A	2	2~4						
財政学B	2	2~4							
国際貿易論A	2	2~4							
国際貿易論B	2	2~4							
労働経済学A	2	3・4							
労働経済学B	2	3・4							
応用科目Ⅱ群	民法	2	2~4					基礎科目から実習科目の中で76単位以上修得	
	会社法	2	2~4						
	税法	2	2~4						
	中部経済論	2	2~4						
	公共経営論	2	2~4						
	地域ビジネス論	2	2~4						
	エリア・リサーチA	2	2~4						
	エリア・リサーチB	2	2~4						
	エリア・リサーチC	2	2~4						
	基礎演習	2	2~4	●	●	●			
演習・外国語科目	専門演習Ⅰ	2	2						2単位以上修得
	専門演習Ⅱ	2	3						
	専門演習Ⅲ	2	3						
	専門演習Ⅳ	2	4						
	専門演習Ⅴ	2	4						
	卒業論文	4	4						
	ビジネス英語Ⅰ	2	2~4						
	ビジネス英語Ⅱ	2	2~4						
	ビジネス英語Ⅲ	2	3・4						
	ビジネス英語Ⅳ	2	3・4						
海外体験演習	2	2~4							
実習科目	情報リテラシーⅠ	1	1~4				4単位以上修得		
	情報リテラシーⅡ	1	1~4						
	経営管理実習ⅠA	1	2~4						
	経営管理実習ⅠB	1	2~4						
	経営管理実習ⅠC	1	2~4						
	経営管理実習ⅠD	1	2~4						
	経営管理実習ⅡA	1	3・4						
	経営管理実習ⅡB	1	3・4						
	経営管理実習ⅡC	1	3・4						
	経営管理実習ⅡD	1	3・4						
	ビジネス・ゲーム実習A	1	2~4						
	ビジネス・ゲーム実習B	1	2~4						
	キャリア・デザインⅠ	2	1~4						
	キャリア・デザインⅡ	2	1~4						
キャリア・デザイン科目	キャリア・デザインⅢ	2	2~4				グレイゾンで 単位認定		
	キャリア・デザインⅣ	2	2~4						
	キャリア・デザインⅤ	2	3・4						
	キャリア・デザインⅥ	2	3・4						
	産官民連携講座Ⅰ	2	2~4						
	産官民連携講座Ⅱ	2	2~4						
	産官民連携講座Ⅲ	2	2~4						
	産官民連携講座Ⅳ	2	2~4						
	産官民連携講座Ⅴ	2	2~4						
	産官民連携講座Ⅵ	2	2~4						
	ビジネス能力	2	2~4						
	インターンシップ	2	2~4						
	基礎経営実務	6	1~4						

I. 大学で学ぶために

II. 履修関連事項

III. 授業・試験・成績

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

# 地域・社会連携コースの説明 ～新しいことに挑戦し、視野を広め、課題解決する力を身につけたい人へ～

地域・社会連携コースは学部授業とは別に社会人基礎力を身につけることを目的とし、一年次より設定したAGU独自のカリキュラムです。どの学部の学生も自由に参加できます。

## 1 地域・社会連携コースの特色

### ●身に付く能力

経済産業省が提唱している、人生100年時代に求められるスキル「社会人基礎力」を身につけ、仕事での活躍はもちろん、生活する地域でも活躍する「地域貢献」型の人材を目指しましょう。

### ●社会人基礎力とは

#### ●前に踏み出す力(アクション) ～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む～

- 主体性:物事に進んで取り組む力
- 働きかける力:他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力:目的を設定し確実に行動する力



#### ●考え抜く力(シンキング) ～疑問を持ち、考え抜く～

- 課題発見力:現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力:課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力:新しい価値を生み出す力



#### ●チームで働く力(チームワーク) ～多様な人々とともに、目標に向けて協力する～

- 発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力:相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性:意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力:自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力
- 規律性:社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力:ストレスの発生源に対応する力



参考:経済産業省 「人生100年時代の社会人基礎力」

### ●コーディネーターによる学生支援

様々な協力者との連携により授業の内容が構成されています。コーディネーターは授業の担当教員でもあり、プログラムの調整、学生の指導を行います。各授業について、履修相談から活動中の困りごとなど適宜、相談にのります。

## 2 科目の説明

### I. サービスラーニング実習Ⅰ～Ⅲ

行政・非営利団体(NPO)・商店街・企業と連携し様々な社会課題を知り、活動するプログラム。連携先の団体と活動する入門的な実習科目です。事前に専門的な知識を身に付ける必要は無く、活動を通して理解を深めます。例えば、高齢化による認知症の問題を考えるプログラムでは、行政の取組みや当事者との交流を行います。ボランティアの活動、講義形式の授業、グループワーク、打ち合わせなど1つのプログラム(実習科目)の中に様々な活動の形態があります。活動と考える事を繰り返しながら社会課題に取り組む意義を理解します。何かやってみたいと思う気持ちがあれば参加できます。

### II. 地域連携学A

地域・社会の問題に取り組む実務家を講師に招き、講義を行います。実務家とは、非営利団体(NPO)、企業、行政などで働く方々です。講義を聴くだけでなく、グループでのディスカッションや講師との対話から、学びと気づきを共有します。

### III. 地域連携学C・D

地域連携学C・Dはフィールドワークを行うプログラムです。地域連携学Cでは、2011年の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により避難区域に指定されていた福島県川俣町に赴き、避難解除後の復興の現状を知り、地域の方々と交流を通して学び気づきを得ます。地域連携学Dでは北海道の厚沢部町で、過疎化が進む地域でファームステイをしながら交流を通して町が抱える過疎化の課題を考えます。

### IV. 課題解決型演習

非営利団体(NPO)・商店街・企業グループ・学校等と連携、実務家の方々と一緒に問題解決プロジェクトを企画立案し、推進に当たる企画実践型のプログラムです。「藤が丘中央商店街(名東区)でのイベント企画、商品開発、映像制作」プロジェクト、「弁天通商店街(西区)での私設ミュージアム立ち上げ」プロジェクト等、社会連携センターの支援を受けながら連携先との協議を踏まえ、新しいことに挑戦します。

# 地域・社会連携コースの説明

～新しいことに挑戦し、視野を広め、課題解決する力を身につけたい人へ～

## 3 地域・社会連携コース科目の詳細情報

科目名	授業内容	開講学年	単位数	評価
サービスマーケティング実習Ⅰ	地域の様々な機関と連携したまちづくり 事前学習 1回 2日～3日の実習 振り返り会 1回 レポート作成	1年生より履修可能	1単位 (卒業要件単位に算入されない)	認定
サービスマーケティング実習Ⅱ	非営利団体(NPO)と連携したボランティア 事前学習 1回 2日～3日のボランティア実習 振り返り会 1回 レポート作成	1年生より履修可能	1単位 (卒業要件単位に算入されない)	認定
サービスマーケティング実習Ⅲ	地域課題に取り組む 事前学習 1回 6回～10回の実習 振り返り会 1回 レポート作成	1年生より履修可能	1単位 (卒業要件単位に算入されない)	認定
地域連携学A (産官民提携講座Ⅳ)	実務家講師による講義 15回の講義形式の授業 記述式試験	2年生より履修可能	2単位 (卒業要件単位に算入されない)	総合評価
		※MKC4学部で「産官民提携講座Ⅳ/地域連携学A」を履修するものは卒業要件単位に算入されます。		
地域連携学C・D	地域に赴きフィールドワーク 事前学習 1回 2日～7日現地での活動 振り返り会 1回 レポート作成	1年生より履修可能	2単位 (卒業要件単位に算入されない)	認定
課題解決型演習Ⅰ (産官民提携講座Ⅴ)	実務家講師による講義 15回の講義形式の授業 グループワークによる発表	2年生より履修可能	2単位 (卒業要件単位)	総合評価
		※MKC4学部で「産官民提携講座Ⅴ/課題解決型演習Ⅰ」を履修するものは卒業要件単位に算入されます。		

## 4 履修方法について

- ①WebCampusで募集案内後、社会連携センターのホームページ(<https://chiiki-renkei.agu.ac.jp/>)から申し込みをする。  
春(4月)・秋(9月)に募集します。
  - ②定員を越える応募があった場合は抽選にて人数調整をします。
  - ③受講が決まったら、受講開始までコーディネーターの連絡に従い受講の準備を進めます。
  - ④履修についてのご質問は下記アドレスまでお問い合わせください。  
社会連携センター メールアドレス m-ccc@dpc.agu.ac.jp
- ※MKC4学部で、「産官民提携講座Ⅳ」「産官民提携講座Ⅴ」の受講はWeb履修より登録する。

# 諸資格の取得

## 教職、司書、司書教諭

経営学部で取得できる以下の諸資格の取得を希望する学生は、卒業に必要な単位のほかに定められた単位を修得しなければなりません。教職課程は1年次生、司書課程は2年次生、司書教諭課程は3年次生から履修することができますが、学費とは別に課程登録料が必要になります。詳細については、それぞれの説明会で説明しますので、希望者は必ず出席してください(「資格課程履修要項」参照)。

- ・高等学校教諭1種免許状(商業)
- ・高等学校教諭1種免許状(公民)
- ・図書館司書資格
- ・学校図書館司書教諭資格

## 社会福祉主事

経営学部では、表の指定科目群から**3科目**以上を修得することにより、社会福祉主事資格(任用資格)を取得することができます。社会福祉主事とは、福祉施設や行政機関で援助や保護が必要な人に相談・援助・指導を行う専門家のことです。

指定科目	授業科目名	単位	開講学科	備考
法学	法学Ⅰ	2単位	教養 (教養基礎科目)	4単位修得
	法学Ⅱ	2単位		
民法	民法	2単位	経営 (応用科目第Ⅱ群)	2単位修得
心理学	心理学Ⅰ	2単位	教養 (教養基礎科目)	4単位修得
	心理学Ⅱ	2単位		
社会学	社会学Ⅰ	2単位	教養 (教養基礎科目)	4単位修得
	社会学Ⅱ	2単位		
教育学	教育学Ⅰ	2単位	教養 (教養基礎科目)	4単位修得
	教育学Ⅱ	2単位		

## 仏教専修科について

本学に在籍する文学部宗教文化学科以外の宗内生(曹洞宗寺院の子弟)で、在学中仏教専修科に籍を置き、所定の単位を修得し、宗務庁で規定する特殊安居の回数以上を修了したものは、曹洞宗二等教師の補任を受けることができます。詳細は、文学部履修要項で確認できます。

## キャリアセンター キャリア支援課(エクステンションセンター)

在学生の皆さんの就職活動および各種資格試験対策学習を強力に支援するために、キャリア支援課があります。キャリア支援課では、行政職や公安職の警察官、消防士などを目指すための公務員試験対策をはじめ、行政書士・宅建・簿記・FP技能・証券外務員二種・リテールマーケティング・MOS対策などの諸資格の対策講座、就職試験対策・教員採用試験・保育士試験・小学校教員試験・SPI(就職)試験などの対策まで、皆さんのニーズに応えられる幅広い講座を用意しています。さらには各種資格試験の願書も取り揃えています。

各種資格対策講座についての詳細は、オリエンテーション(3月・4月開催)および4月からの各講座の説明会に出席してください。なお、ご意見・ご希望などがありましたらMKC事務室までお気軽にお申し出ください。